

平成29年度 まちなか再生支援事業 採択事業一覧

	市町村名	プロデューサー 事業内容
1	北海道下川町	北海道大学大学院工学研究院 教授 瀬戸口 剛 氏 農山村・過疎地域における小規模自治体において、小さなまちだからできる「顔の見える空き家ビジネスの展開」をスローガンに、事業化を前提とした不動産取引のための基盤整備や不動産流通システムの確立により遊休不動産の流通を加速化させ、移住・定住等を促進させるとともに、地域の活性化を図る取り組みを行う。
2	福島県石川町	株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役 西村 浩 氏 「まちなか再生行動計画」の下で個別に実施されている各種事業を専門家のアドバイスを受けながら統一性のある効果的な事業にするために、高校生との協働による復元されるまちの文化人居宅の活用法の検討及び小学校跡の減築リノベーションにより整備される文教福祉複合施設の運営組織作り並びに2拠点間につながりを持たせるにぎわい創出事業を行う。
3	神奈川県小田原市	株式会社都市環境研究所 取締役主任研究員 大野 整 氏 小田原市が重点区域として位置付けている「かまぼこ通り」について、回遊性の向上、商業の活性化、定住人口の増加という段階的な取り組みによる地域コミュニティの維持・拡大を目指し、まちなか再生の実現に向けた実行計画の策定と実施体制の検討を行う。
4	広島県三原市	株式会社浜野総合研究所 代表取締役社長 浜野 安宏 氏 人口減少や高齢化が進む中、三原市中心部エリアの機能を維持・発展させるため、市民が誇りや愛着を持ち、市内外の人から魅力的に思われるエリア像をビジュアル的に整理し、将来のランドデザインとすることに取り組む。併せて、将来の市中心部で活躍する人材を育成するとともに、活躍しやすい環境整備に取り組む。
5	宮崎県日南市	日南市 エリアマネージャー 木藤 亮太 氏 中心市街地活性化事業で取り戻したまちなかのにぎわいを持続させるべく、地域住民を主体とした自走できるまちづくりの推進体制の構築や担い手の育成、さらには、クルーズ船やプロ野球キャンプ等での来訪客を、日南市の油津商店街を中心とする地区全体に回遊させるための方策の検討に取り組む。
	5 団体	